

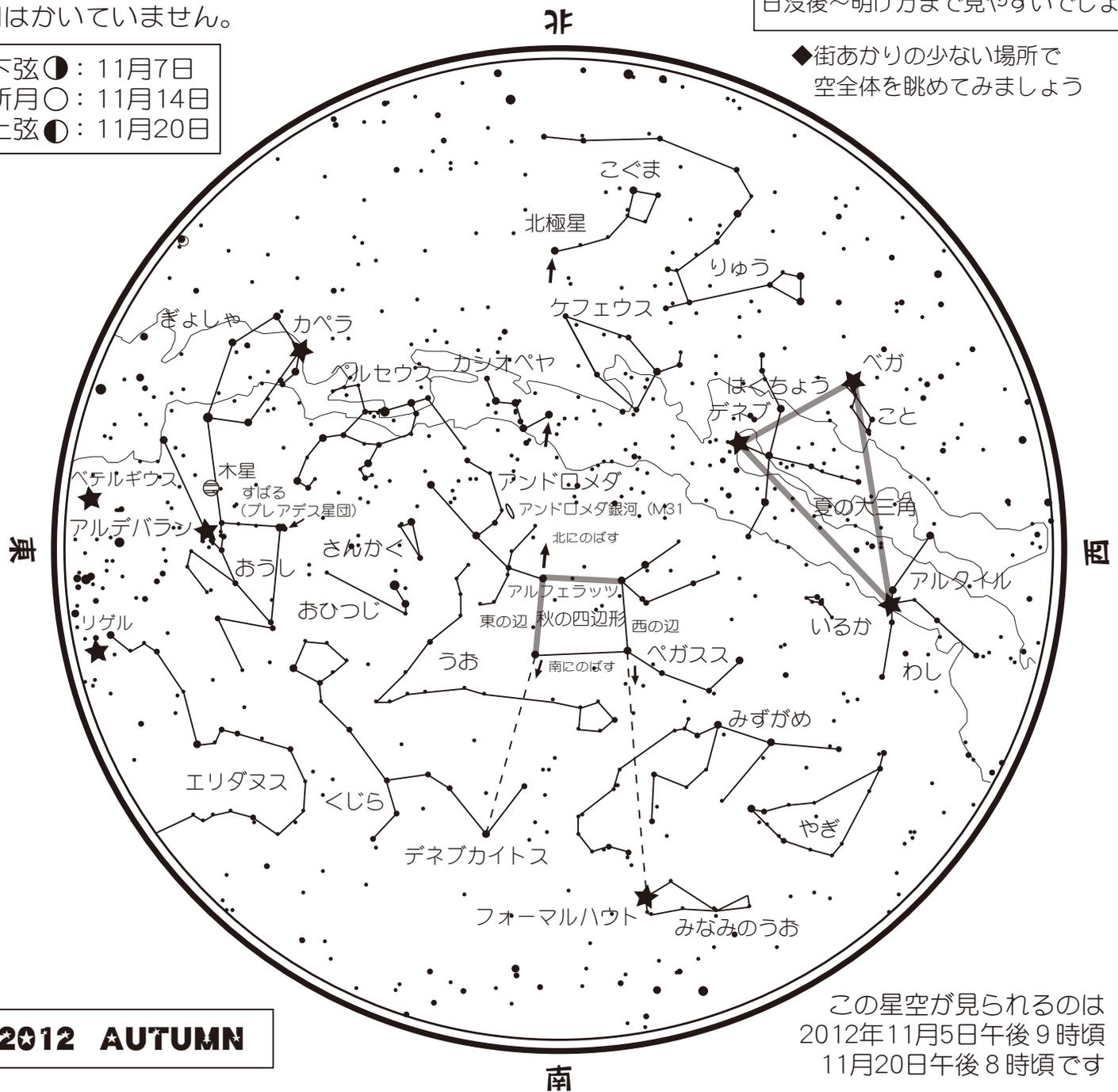
★ 姫路で見る11月前半の星空 ★

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図を見るときには見ている方向の方位を下にして下さい。
★は一等星を表しています。
月はかいていません。

☆流星群をみよう☆
しし座流星群 11月17日 19時 極大
日没後～明け方まで見やすいでしょう

下弦☾: 11月7日
新月○: 11月14日
上弦☽: 11月20日

◆街あかりの少ない場所で
空全体を眺めてみましょう



この星空が見られるのは
2012年11月5日午後9時頃
11月20日午後8時頃です

秋の星座探しは、天頂辺りで輝く「秋の四辺形」から始めましょう。まず、四辺形の西の辺(へん)を南の地平線にのばすと、一等星フォーマルハウトが見つかります。秋の星座の星でただ一つの一等星で、みなみのうお座の目じるしです。次に、四辺形の東の辺を北にのばすと、カシオペア座が見つかります。さらにのばすと北極星にたどりつきます。夜空では北の方角を教えてくれる星です。今度は、東の辺を南の地平線にのばすと、くじら座の二等星デネブカイトスが見つかります。これからの季節、南の空では、フォーマルハウトと並んで目を引きます。最後に、四辺形の星アルフェラツツから明るい星をたどって、アンドロメダ座を見つけましょう。

東の空には、もう冬の星座が見えます。ひときわ目を引くのが、-3等級の明るさで輝く木星です。まず木星を見つけて、それからアルデバランやカペラといった一等星、すばる(プレアデス星団)などを見つけてみましょう。

姫路科学館プラネタリウム長期休演のお知らせ

2012年11月13日～2013年3月15日の期間、設備更新のためプラネタリウムを休演します